

1. 基本情報

評価対象年度 (令和2 年度)

施策コード	321	施策名	「生きる力」「考える力」を育む学校教育
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	32	子どもが生きる力・考える力を身につけられるまち	
主担当部	教育部	主担当課	教育指導課

2. 施策の方向

10年後の姿	教員の指導力の向上や教育課程の工夫と改善によって学校教育が一層充実することで、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな人間性」、「健やかな体」といった「生きる力」「考える力」が育まれています。		
施策の方向性	1	子どもたちの学力の向上を図ります	
	2	子どもたちの「機やかな(しなやか)で強か(したたか)な心」と、豊かな人間性を培います	
	3	子どもたちの心身の成長と、体力の向上をめざします	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和2年度決算額
事務局一般事務事業	1	教育総務課	1,767
研究指定校等推進事業	1、2、3	教育指導課	1,869
児童・生徒健全育成事業	1、2	教育指導課	447
情報教育推進事業	1	教育総務課	79,522
特色ある教育活動事業	1、2	教育指導課	1,986
学力向上推進事業	1	教育指導課	26,036
地産地消推進事業	3	教育総務課	1,084
体験型英語学習活動事業	1	教育指導課	0
小学校施設維持管理事業	1、2、3	教育総務課	69,777
小学校運営管理事業	1	教育総務課	136,486
小学校教育指導事業	1、2、3	教育指導課	21,689
小学校特別支援学級事業	1、2、3	教育指導課	585
小学校校舎改造事業	1、2、3	教育総務課	16,519
小学校体育館空調設備整備事業	1、2、3	教育総務課	11,519
中学校施設維持管理事業	1、2、3	教育総務課	34,368
中学校運営管理事業	1	教育総務課	68,093
中学校教育指導事業	1、2、3	教育指導課	20,676
中学校特別支援学級事業	1、2、3	教育指導課	258
中学校特別支援教室事業	2	教育指導課	70
中学校体育館空調設備整備事業	1、2、3	教育総務課	146,386
学校支援本部事業	1	生涯学習スポーツ課	583
総事業費(施策の合計)			639,720

4. まちづくり指標

指標情報				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度	令和7年度		
①	名称	文部科学省「全国学力学習状況調査」における平均正答率(国平均比較)		目標値	—	小学校6年国語 -4.0P 小学校6年算数 -1.0P 中学校3年国語 +1.5P 中学校3年数学 +1.5P	小学校6年国語 -4.0P 小学校6年算数 -1.0P 中学校3年国語 +1.8P 中学校3年数学 +1.8P	小学校6年国語 -3.0P 小学校6年算数 -0.5P 中学校3年国語 +1.8P 中学校3年数学 +2.0P	小学校6年国語 ±0.0P 小学校6年算数 ±0.0P 中学校3年国語 +2.0P 中学校3年数学 +2.0P	
	説明	—	単位 %	実績値	—※	/				
	抽出方法	文部科学省「全国学力学習状況調査」		達成率	—					
②	名称	児童・生徒の「自己肯定感」にかかわるアンケート調査(自分には良いところがある)の肯定的回答率		目標値	—	80.0%(小学校) 73.0%(中学校)	82.0%(小学校) 73.0%(中学校)	82.0%(小学校) 74.0%(中学校)	84.0%(小学校) 75.0%(中学校)	
	説明	—	単位 %	実績値	81.2%(小学校) 71.8%(中学校)	—※	/			
	抽出方法	文部科学省「全国学力学習状況調査」		達成率	—					
③	名称	東京都児童・生徒体力・運動能力調査 合計点(東京都平均比較)		目標値	—	小学校6年男子 +1.0 中学校3年男子 -1.0 小学校6年女子 +1.0 中学校3年女子 -2.0	小学校6年男子 +1.0 中学校3年男子 -1.0 小学校6年女子 +1.0 中学校3年女子 -2.0	小学校6年男子 +1.0 中学校3年男子 -0.5 小学校6年女子 +1.5 中学校3年女子 -2.0	小学校6年男子 +1.5 中学校3年男子 ±0.0 小学校6年女子 +2.0 中学校3年女子 ±0.0	
	説明	—	単位 点	実績値	小学校6年男子 +0.6 中学校3年男子 -1.3 小学校6年女子 +1.0 中学校3年女子 -2.5	—※	/			
	抽出方法	東京都児童・生徒体力・運動能力調査		達成率	—					

※調査未実施

5. 評価(令和2年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●学力については、校内での実施・評価に留め、授業改善に努めた。令和3年度からGIGAスクール構想により一人一台端末が整備されるため、学習指導要領に応じた学力向上に努める。 ●自己肯定感については、国・都ともに意識調査を実施しなかったため数値目標に照らした評価は行えなかった。しかし、本市の取り組みとして実施している学校環境適応感尺度「アセス」を全校で実施し、配慮が必要な児童・生徒の抽出及びそのケアの強化が図られた。 ●体力については、学校の希望に応じて、部分的に実施を行った。コロナ禍のため、運動不足等については、今後の大きな課題であるとの認識の元、体育・保健体育科を中心に運動時間の確保に努めた。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和2年度からの変更点	コロナ禍により、文部科学省「全国学力学習状況調査」、都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」及び都「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」は意識調査も含め一斉での実施は中止となった。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題</p> <p>新学習指導要領を踏まえ、各学校における指導において、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力・人間性等を高める授業改善を行う必要がある。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組</p> <p>課題解決型の授業改善に向けた研修会等の実施をする。また、地域図書館との連携を図った学力の向上(調べる学習コンクールへの全校参加)に努める。</p>
②	<p>施策を進める上での課題</p> <p>命の教育の更なる充実を図る必要がある。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組</p> <p>個別の教育課題(いじめ、自殺、不登校等)に向けた取組の充実を図る。</p>
③	<p>施策を進める上での課題</p> <p>運動の日常化に向けた取組の強化・充実を図る必要がある。</p> <p>課題に対する令和4年度以降の取組</p> <p>運動部以外の生徒の運動時間を確保する。</p>